経営比較分析表(令和3年度決算)

長崎県大村市 市立大村市民病院

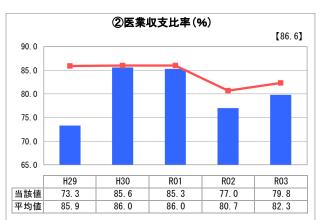
| bendales attails all messagian | | | | | | | | | |
|--------------------------------|---------|---------|---------------|------------|--|--|--|--|--|
| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 | | | | | |
| 条例全部 | 病院事業 | 一般病院 | 200床以上~300床未満 | 非設置 | | | | | |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 | | | | | |
| 指定管理者(利用料金制) | 22 | 対象 | ド 透 | 救 臨 輪 | | | | | |
| 人口(人) | 建物面積(㎡) | 不採算地区病院 | 不採算地区中核病院 | 看護配置 | | | | | |
| 97, 824 | 16, 315 | 非該当 | 非該当 | 10:1 | | | | | |

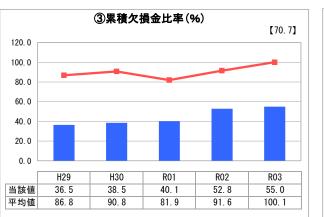
| 許可病床(一般) | 許可病床(療養) | 許可病床(結核) | |
|------------|-------------|----------------|--|
| 212 | - | - | |
| 許可病床(精神) | 許可病床(感染症) | 許可病床(合計) | |
| - | - | 212 | |
| 最大使用病床(一般) | 最大使用病床 (療養) | 最大使用病床 (一般+療養) | |
| 212 | - | 212 | |

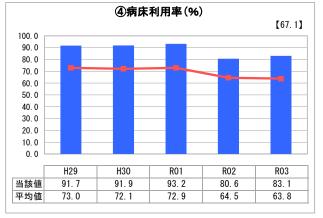
- ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療
- ※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性

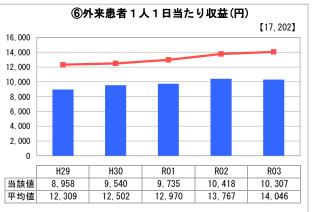


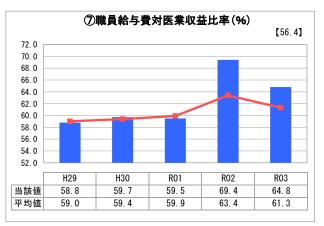


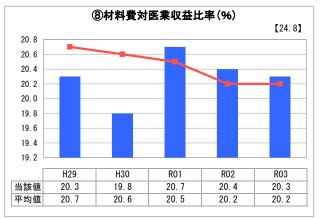






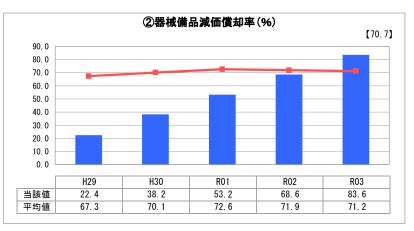


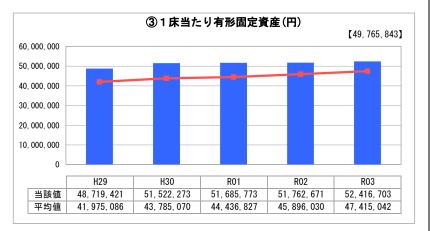




2. 老朽化の状況







グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

| 再編・ネッ | トワーク化 | 地方独立 | 行政法人化 | 指定管理 | 者制度導入 |
|-------|-------|------|-------|------|-------|
| - | 年度 | - | 年度 | - | 年度 |

地域において担っている役割

地域医療の中核病院として本市の2次医療を担って

また、政策医療として①救急医療体制の充実、②リ ハビリテーション医療の充実、③高度循環器系医療の 充実、4)歯科口腔外科診療の充実、5)健康診断の充実 などに取り組むほか、MRI、CTなどの高度医療機器を 地域の医療機関と共同利用するなど地域医療の質の向 上を図っている。

新型コロナウイルス感染症への対応としては、重点医 療機関として病床を確保し、患者受入体制を整備して

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○新校内院並出中 平均値を大きく下回っているが、平成29年4月の病院改築に係る減価償却費が多額になっていることなどにより、前年度と比較して比率が悪化している。

新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に大幅に減少したが、令 ⑤入院患者1人1日当たり収益

手術単価が高い心臓血管外科(50件増)、循環器内科(21件増)の手術 件数が増えたことにより、前年と比較して増加している。 ⑥外来患者1人1日当たり収益

前年度と比較しても大幅な増加はなく、1万円台を保ち概ね横這いとなって

⑦職員給与費対医業収益比率

老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、

②器械備品減価償却率

平成29年度の病院改築に伴い固定資産の除却を行っ こことで平均値を下回っている。平成30年度以降は病 院改築及び老朽化機器の更新に伴う器械備品の購入に 係る減価償却を行っていることから、増加を続けてい

③1床当たり有形固定資産

令和3年10月に感染症指定医療機関の指定を辞退 、年度末病床数が4床減り212床となったことから当

該指標が増加している。

全体総括

市立大村市民病院は利用料金制による指定管理者制度で病 院運営を行っており、平成29年4月より新病院での診療を開 始している。急性期医療から地域包括ケア、回復期、予防 医学にわたる一貫した医療の提供を行っている。コロナ禍 においても病床利用率は平均値を上回っており、10月以 降は月平均85%以上を保ち安定した病床利用率となって

経常収支比率については100%を下回る単年度赤字となっ ており、医業収益は90%を切っていることから、他会計繰入 金に依存している状況である。

令和3年度は、前年度と比べて入院収益、外来収益ともに 増加し、指定管理者による病院運営自体も黒字となった。 引き続き、地域医療において担うべき役割を果たしながら 医業収益の増加に努め安定した経営を目指す。